

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>

外国語 英語 (その1)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

---

次の文章をすべて和訳しなさい。

(出典：F. H. Lawson and Bernard Rudden, *The Law of Property*,  
Oxford, Third edition, 2002)

著作権に関連して、記載しておりません。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>

外国語 英語 (その2)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

---

次の文章をすべて日本語に訳しなさい。

(出典：Sally Engle Merry, *Human Rights & Gender Violence: Translating International Law into Local Justice*, University of Chicago Press, 2005, pp. 2-3.

著作権に関連して、記載しておりません。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2025年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>

外国語 英語 (その1)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

次の文章をすべて日本語に訳しなさい。

(出典：PEPPER D. CULPEPPER, QUIET POLITICS AND BUSINESS POWER 4-5 (2011))

著作権の関係から記載しておりません。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2025年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>

外国語 英語 (その2)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

---

問題

以下の英文全文を和訳しなさい。

著作権の関係から記載しておりません。

出典

(William H. Landes, Richard A. Posner, "Legal Precedent: A Theoretical And Empirical Analysis", The Journal of Law and Economics Volume 19, Number 2(Aug., 1976) 249-250, The University of Chicago Press)

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2025年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(春)>

外国語 英語 (その1)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

---

次の文章をすべて日本語に訳しなさい。

(出典: Susan Harie et al., *Gender and Racial Influences on Judicial Decision Making*, IN RESEARCH HANDBOOK ON JUDICIAL POLITICS 85,88-89 (Michael P. Fix & Matthew D. Montgomery ed., 2024).

著作権の関連から、記載しておりません。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2025年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(春)>

外国語 英語 (その2)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

問題

以下の英文全文を和訳しなさい。

著作権の関連から記載しておりません。

出典

(Brian H Bix, Chapter10 Contract, The Ethics of Consent : Theory and Practice, Alan Wertheimer, Franklin G. Miller, eds., Oxford University Press, 2010, pp256-257)

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2024年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>

外国語 英語 (その1)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

次の文章をタイトルも含めすべて日本語に訳しなさい(ただし、アンダーラインの部分〔1箇所〕は訳しなくてよい)。

(出典: H. Kelsen, *Pure Theory of Law*, 2nd ed., California Cambridge University Press, 1967)

I

著作権に関連するので、本文記載していません。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2024年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>

外国語 英語 (その2)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

次の文章をすべて日本語に訳しなさい。

(出典 : Christine Jolls, Cass R. Sunstein & Richard H. Thaler, *A Behavioral Approach to Law and Economics*, IN BEHAVIORAL LAW & ECONOMICS 13, 38-39 (Cass R. Sunstein ed., 2000) )

著作権の関連より、本文は記載されていません。

氏名 |

受験番号

2024年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(春)>

外国語 英語 (その1)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

次の文章を表題も含めすべて日本語に訳しなさい(ただし、“Sanction”は、「サンクション」と訳せばよい)。

(出典: H. Kelsen, *General Theory of Law and State*, Russell & Russell, 1961)

著作権の関連で記載していません

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2024年度 大学院入学試験問題

法学研究科

私法専攻・公法専攻 博士前期課程 <一般入試(春)>

外国語 英語 (その2)

※(その1)、(その2)のどちらかに解答すること。

---

次の文章をすべて日本語に訳しなさい。

(出典 : Andrew S. Gold, *The Fiduciary Duty of Loyalty*, IN THE OXFORD HANDBOOK OF FIDUCIARY  
LAW 385, 387-388 (Evan J. Criddle, Paul B. Miller & Robert H. Sitkoff ed., 2019).  
。)

著作権の関連で記載していません。